

「教育用語辞典」第36回です。今回は穴埋め問題です。①～⑥に入る適当な言葉を、末尾の語群から選んでみてください。職員室でのひととときに、お隣の方に問題を出してみてもいいでしょうか？

【体験的な学習】

〔たいけんてきながくしゅう〕

レベル★

直接体験（①）、疑似体験など、実際に体を動かかし五感をはたらかせて学ぶ学習方法。社会体験、実験、見学、発表、ものづくり等を通して、観念的な理解だけでなく、実感をともなった学びを得ることができる。（②）の31条にも「児童の体験的な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。」とある。

【問題解決的な学習】

〔もんだいかいけつてきながくしゅう〕

レベル★★★

子どもが日常生活の中でであろう具体的な問題を学習問題ととらえ、その問題の（③）を通して、問題解決のための能力や態度を育成しようとする学習方法。アメリカの教育学者（④）の学習理論を基礎とする。子どもの関心意欲が高まる、自発的な学習を促す、思考力や創造性を伸ばすなどの長所と、指導に努力と時間がかかる、学習の管理が難しい、系統的な知識や基礎的な技能が習得されにくいなどの短所が指摘される。

【考え、議論する道徳】

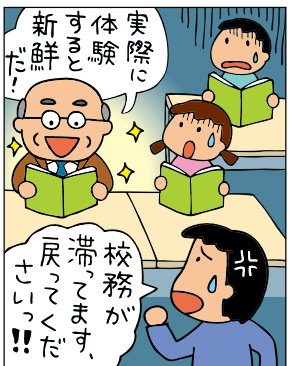
〔かんがえ、ぎろんするどうとく〕

レベル★★★

「特別の教科道徳」のキーワードのひとつ。「小学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編」に「答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合う『考える道徳』」（⑤）へと転換を図るものである」とある。道徳科の授業において、道徳的な課題を子どもが自分の事として捉え、互いに話し合い、語り合うことを通して多様な（⑥）に触れながら、自己のよりよい生き方を考えていくことを重視した学習。

【語群】

類似体験 議論する道徳 教育基本法
価値観 発生過程 ベスタロッチ
間接体験 認め合う道徳 学校教育法
解決過程 デューイ 人間性



【解答】

- ① 間接体験
- ② 学校教育法
- ③ 解決過程
- ④ デューイ
- ⑤ 議論する道徳
- ⑥ 価値観